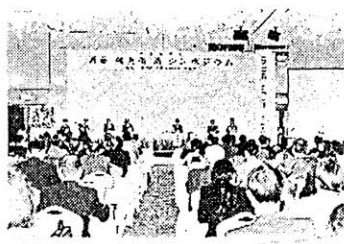


# 「一村一志」のス ローガンかけ HNS研がシンポ

二十八日、松江市千鳥町のホテル一畑で、「周藤弥兵衛シンポジウム」が開催された。

同シンポジウムは、八束郡八雲村に本社のある小松電気産業株式会社が松江市浜乃木町へ工場進出するに伴い開設したHNS研究所が主催。

周藤弥兵衛は出雲の国・意宇郡日吉村（現在の八束郡八雲村）の大庄屋だった



人。延享四年（一七四七）、当時の日吉村は、同村内を

流れる意宇川が毎年のように氾濫。弥兵衛は岩山の剣山をくりぬくことによってこれを解決した。

HNS研究所はこの周藤弥兵衛の偉業をたえ、「一村一志」のスローガンをかけている。同研究所を部長佐々木武男氏は、「HNS（人間・自然・科学）研究所は、混乱の時代にあって人間の生きるべき指針を先人から学ぶ運動で

ある。これから八雲村にかぎらず、この志をかかげる地域にはいくらでも（運動の）ノウハウを教えます。」と説明している。

同研究所は周藤弥兵衛に關する出版物を小説・漫画・児童文学として三冊発行している。問い合わせは松江府浜乃木2-16-9宅和ビル6号 HNS研究所。

良さん。

今回のメインスローガンは「働くものの団結で生活と権利、平和と民主主義をまもろう！」。市役所前からJR松江駅へ向けてデモ行進した。なお連合島根は西川津町の市北公園に約五千人を集めて開き、今年も分裂メーデーとなった。